

『当事者団体の声をまとめて・・・』

福井県には障がいのある人の就労と生活を支援するシステムとして、『福井障害者就業・生活支援センターふつとわーく』と『嶺南障害者就業・生活支援センターひびき』があり、国と県の委託を受け、県内の知的・身体・精神などの障がいのある人へ、就業とそれに伴う生活に関する相談・助言・指導・支援を行っています。

現在 嶺北・嶺南でおよそ5百人の方が登録され、年間約5千件以上の相談があり、関係機関と連携した支援が行われています。2月20日ふつとわーく・26日ひびきの関係機関連絡調整会議が開催され、

※関係機関・福井労働局・福井県労働政策課・福井県内公共職業安定所・福井県雇用支援協会・福井障害者職業センター・福井県教育庁・福井県障害福祉課・福井県総合福祉相談所・福井県身体障害者福祉連合会・福井県手をつなぐ育成会・福井県精神保健福祉家族会連合会  
障がい者の就労の現状について情報交換を行いました。

2月末の状態です福井県内の障がい者の解雇は表には出てませんが、一般の雇用が非常に冷え込み、元来少ない障がい者の雇用が厳しくなるのは間違いがありません。

このような状況で就業日数の調整があり通常の勤務が難しくなり、平日に休みが出来たり、出勤時間が変わったりするケースが出て来ました。

もちろん収入にも響きますが、それ以上

に懸念されるのは折角築いてきた生活パターンの変調です。健常の人は空いた時間を趣味に使ったり別なバイトを入れたり、と切り替えた対応が可能ですが、障がい本人さんの場合、家庭に休日の話が出来なかつたり、家族が止めても出勤してしまつたり、或は街の中で行くあてがなく時間を持って余したりとかなり不安定で危険な状況が目に見えます。

福祉的就労の現場でも受注仕事が続切れ今日もカラオケだった、と聞くこともあり現場の苦悩がうかがえます。

厳しい社会情勢で親も子も大変ですが、本人さんが安心して生きる場を作る為には、其々がバラバラに要望をするのではなく、行政や社会に知的障がい当事者の声として県内の親の声を集め、一つの立場をもつて動くことが一番強いと育成会は考えます。

身体障がいのある人の要望が強いのは、本人さんの生の声だからです。

私たちは親ですが当事者の立場があり、当事者団体です

育成会としての声を集めましょう！

NPO福井県手をつなぐ育成会はこのたび障がい者の社会自立の場を拡げていく為に『県庁の知事室で知的障害者の職業実習をさせて下さい』と要望書を提出しました。

「接客や清掃、簡単な書類の運び、などを一つひとつ丁寧に教えて行けば、知的に障がいのある本人さんは、素直なので仕事は学べる」と就労機関の方に認めていただくと考えます。

今年  
は  
日曜開催です

第29回 福井県知的障害者スポーツ大会  
(フレンピック)

平成21年5月17日(日)

県営陸上競技場 他 (開催方法は従来通り)



第47回 福井県身体障害者スポーツ大会  
5月24日(日) / 県営陸上競技場 他

# 「社会のみんなと手をつなぐ育成会事業」シンポジウム

(併催:平成20年度 育成会“げんき塾”活動発表会)

本人さん達の笑顔と  
元気な姿を見に来てください!!

3月15日(日)  
県民ホール

## ● タイムスケジュール ●

- 12:30 ~ 受付開始
- 13:00 ~ 『げんき塾 活動発表会』
- 13:05 ~ 育成会“げんき塾”活動紹介 ~教室からPR!~
- 13:35 ~ ステージ発表  
 パネル展示 12:30~16:30  
 呈茶席 13:00~14:30
- 14:00 閉会・休憩
- 14:30 ~ 『シンポジウム』……………(予約託児)……………
- 14:35 ~ 講演「私・家族・地域 そして育成会」  
 講師 吉川 かおり 氏
- 15:30 ~ シンポジウム「どうする? ライフネット構築に向けて」  
 ・司会進行  
 ・コーディネーター  
 吉川 かおり 氏  
 ・シンポジスト(相談者、保護者、障がいのある本人)
- 16:30 閉会

みんなで手をつないで、  
様々な立場から一緒に  
考えてみませんか?

お車でお越しの方は、A O S S A 地下駐車場(有料)をご利用ください。

シンポジウムの間、若干の託児を受け付けます。(事前申し込みが必要です。)